

【アンケート調査における議員に関する記載事項の発表について】

前副市長辞職等に関する調査特別委員会が行ったアンケート調査においては、議会としても市役所の職場環境の改善に積極的に取り組みたいという考えから、調査対象に議員を加えることとしておりました。

結果、アンケートへの回答には「一般質問に関すること」「担当課に要望が通らないと市長・副市長の名前を出す」「延々と持論を聞かされた」などの具体的な事例が複数確認されたほか、そういった行為を行った議員として、8人、1会派、また単に「大和市議会議員」とだけ書いたものを含む、複数件の記載がありました。

議会は行政を監視し、課題があれば改善を提案するという二元代表制の趣旨から考えますと、ある程度、市職員に厳しいことを言うことが必要な場面はありますが、このように少なくない指摘をいただいたことについては真摯に受け止め、議会としても反省し、パワハラと受け止められる言動が無くなるよう、対策を講じて参ります。具体的には、パワハラ禁止条例の制定やパワハラ研修等、議会としても今後の対応を検討してまいります。

一方で、「調査を混乱させるために議員の名前を書くよう指示があった」との証言もあったことや、本アンケート調査は無記名であり、名前を書かれた議員の中には身に覚えが無いといった声もあったこと、そして何よりアンケート調査にご協力くださった市職員の方々が特定されることのないように細心の注意が必要であることから、発表の通り、内容を集約した形での公表とさせていただいております。報道機関のみなさまにおかれましては、この点について何卒ご理解をいただきますようお願いいたします。

議員に関する記載

※アンケート回答者が特定されることのないようにするため、記載の内容と議員名が必ずしも一致するものではありません。(例えば、ここに書かれた内容以外の事例を書かれた議員もいますが、その事例を公表することで回答者が特定される場合は事例を記載していません)

Q5 その他

・一般質問関係(答弁案が意に沿わないと抗議を受ける等)・担当課に要望が通らないと市長・副市長の名前を出す等

小田議員・河端議員・布瀬議員・石田議員・堀口議員・古谷田議員・公明党議員団

(このほかに個人名ではなく、大和市議会議員とだけ記載した回答者が4名ありました)

Q5 以外の記載

・延々と持論を聞かされた等

山本議員・石田議員・中村議員

以上